

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和元年9月12日

計画の名称	1 兵庫県における環境の保全及び創出																										
計画の期間	平成25年度～平成29年度(5年間)			交付対象	兵庫県																						
計画の目標	人と自然が共生する川づくりを目指し、治水・利水機能の充実はもとより、河川での多様な生物の生息・生育・繁殖環境を保全・再生・創出するために、国、県、市、地元住民、学識経験者など様々な分野の人々との連携を図り、参画と協働のもと、生態系や親水性等に配慮した河川整備に取り組む。																										
計画の成果目標(定量的指標)	① 河床河岸の多自然化延長を2,930m(H25)から4,000m(H29)に向上。 ② 魚道等の整備により、連続性を阻害する段差を9箇所(H25)から0箇所(H29)に減少。																										
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1" style="width:100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="3">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H25当初)</th> <th>中間目標値 (H27末)</th> <th>最終目標値 (H29末)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 河岸河床の多自然化延長</td> <td>2,930m</td> <td>-</td> <td>4,000m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 連続性を阻害する段差の数</td> <td>9箇所</td> <td>-</td> <td>0箇所</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>										定量的指標の現況値及び目標値			備考	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)	① 河岸河床の多自然化延長	2,930m	-	4,000m		② 連続性を阻害する段差の数	9箇所	-	0箇所	
	定量的指標の現況値及び目標値			備考																							
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)																								
① 河岸河床の多自然化延長	2,930m	-	4,000m																								
② 連続性を阻害する段差の数	9箇所	-	0箇所																								
全体事業費	合計 (A+B+C)	300百万円	A	300百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%																	

事後評価(中間評価)

○事後評価(中間評価)の実施体制、実施時期

事後評価(中間評価)の実施体制	事後評価(中間評価)の実施時期
兵庫県県土整備部で評価	令和元年9月
	公表の方法
	ホームページ

1. 交付対象事業の進捗状況

交付対象事業

A 基幹事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	事業及び 施設種別	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
											H25	H26	H27	H28	H29		
1-A1-1	河川	一般	兵庫県	直接	兵庫県	環境1		円山川・但馬圏域総合流域防災事業	円山川水系出石川 他9河川 河岸河床多自然化、段差解消	豊岡市						300	
小計(河川事業)											300						
合計											300						

B 関連社会資本整備事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計											0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

C 効果促進事業

番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	備考
										H25	H26	H27	H28	H29		
合計											0					

番号	一体的に実施することにより期待される効果	備考
----	----------------------	----

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		<ul style="list-style-type: none"> ・河岸河床の多自然化や魚道等の整備により、魚類の移動阻害が解消し、上流へ遡上する魚類の種別・個体数の増加が確認された。 ・河岸河床の多自然化や魚道等の整備により、国の特別天然記念物であるオオサンショウウオの移動阻害が解消し、オオサンショウウオの遡上・生息が確認された。 			
II 定量的指標の達成状況	指標①（河岸河床の多自然化延長）	最終目標値	4,000m	目標値と実績値に差が出た要因	-
		最終実績値	4,000m		
	指標②（連続性を阻害する段差数）	最終目標値	0箇所	目標値と実績値に差が出た要因	-
		最終実績値	0箇所		
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)		-			
3. 特記事項（今後の方針等）					
-					